

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

1 総評

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標（中期目標期間：平成18年4月1日から平成24年3月31日まで）において、先端的な歯科医療の知識・技術を教授するとともに、高齢者の治療や健康管理指導ができる能力、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成23年度で中期目標期間が終了したことに伴い、法人から提出された業務実績報告書を基に法人ヒアリングを実施し、また、認証評価機関による評価結果も踏まえ、中期目標期間の業務実績について評価を行った。

評価の結果、中期目標項目7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について、中期目標の達成状況が「良好である」と評定した。

理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めており、中期目標の達成状況は、全体としては良好であると認められる。

九州歯科大学は、これまで多くの優秀な歯科医師を輩出しており、平成26年には創立100周年を迎える伝統ある大学である。

平成24年度から第2期の中期目標期間に入り新たなスタートを切ったところであるが、歯科医療の高度化や高齢社会の進展など、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化している中、大学の個性・特色を一層明確にし、将来にわたって県民の期待に応える魅力ある大学づくりを更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務については、中期目標の達成状況が良好であると認められる。

教育について、学生に分かりやすいカリキュラム編成にするため歯科基礎教育科目の統合を進めるとともに、学生が主体的に学習し、探究心を身につけるためのテュートリアル教育を導入・充実させている。平成22年4月に開設した口腔保健学科の歯科基礎科目については、歯学科との合同授業を行い質の向上を図っている。

専門教育については、専門医療及び先進医療に関する臨床実習の増加を図るなど、臨床

実習システムの継続的な見直し・改善に取り組んでいる。

また、FD活動(※)の充実や「同僚による授業評価」の全科目導入等、教員の教育能力の向上に努めている。

今後も、教育内容の一層の充実を図り、優秀な歯科医師及び歯科衛生士の育成に努められたい。

社会貢献については、e-learningによるリカレント教育のコンテンツ公開を本格稼働しており、今後の更なる充実を期待する。

また、地域に対する歯科保健医療活動など、公立大学として、社会貢献に関するより積極的な事業の展開を期待する。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

3 財務状況

財務については、中期目標の達成状況が良好であると認められる。

患者紹介率の向上等による診療報酬の確保や、外部研究資金の獲得に積極的に取り組むなど自己収入の増加に努めるとともに、業務の見直し等による経費の抑制に取り組んでおり、一定の成果が認められる。

今後とも継続的な経営改善に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントについては、中期目標の達成状況が良好であると認められる。

理事長のリーダーシップの下、運営体制の整備、事務処理の効率化、任期制実施、教員個人業績評価の実施と給与への効果的な反映等、法人化のメリットを活かした取組を着実に進めている。今後とも、事務局機能の強化等運営体制の改善を図るとともに、適切な評価の実施、情報公開の推進に努められたい。

II 項目別評価(中期目標項目別評価)

1 教育

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 地域の発展に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成

- ・ 専門医療及び先進医療に関する臨床実習の増加を図るなど、臨床実習システムの改善に取り組んでいる。
- ・ 成績評価基準の明確化や修学状況を把握する体制の構築など、厳格な成績評価の実施に努めている。また、成績不振等学生について保護者説明会を開催するなど積極的な取組を行っている。
- ・ 九州工業大学と歯学・工学を融合させた領域の教育を行う大学院連携を開始し、単位互換を実施している。
- ・ FDを通して教育方法の改善を図るなど、教養教育の充実に努めているが、学生による授業評価は全般的に低く、授業満足度向上のための分析及び取組が必要である。
- ・ 歯科医師国家試験対策を強化した結果、合格率は全国トップクラスとなるまでに向上したが、平成23年度は大幅に低下している。このことを重く受け止め、全国トップクラスの合格率に回復し、その維持に努めること。

(2) 適性のある優秀な人材の確保・育成

- ・ AO入試(※)を導入するなど、高い志を持った優秀な学生の確保に努めている。
- ・ オープンキャンパスの内容の充実、高校訪問及び入試説明会の増加など広報活動の充実に努めており、一般入試の志願倍率が向上していることを評価する。

※AO入試(アドミッション・オフィス入試)

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する方法

(3) 教育の質の改善

- ・ FD活動への教員参加率が向上するなど、FDの推進に努めている。
今後より効果的なFDを実施し、教員の教育能力の向上に一層努められたい。

(4) 学生への支援

- ・ 「学生意見箱」や「なんでも相談室」を設置し、学生の意見を取り入れる制度を導入し、図書館の利用時間を延長するなど、修学環境の改善等に努めている。

- ・健康管理室の活動を強化し、学生の定期健康診断受診率が上昇していることを評価する。
- ・口腔保健学科の学生の就職支援体制の構築に努めており、今後の積極的な取組に期待する。

2 研究

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・研究成果に基づいた、また、若手研究者の育成に注力した研究費の配分、研究活動の事後評価・検証システムの構築等、研究推進に取り組んでいる。
- ・事務局による外部研究資金の公募情報の提供など研究支援を実施している。論文数、学会発表数、特許・実用新案権件数、外部研究資金獲得件数・獲得金額が目標を上回っており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・e-learning によるリカレント教育の「Q-shidai ゼミ」のコンテンツ数を順次拡充しインターネットで公開している。今後も内容の充実を図り、利便性を向上させることを期待する。
- ・社会貢献活動を総括する社会貢献委員会の下に、地域貢献、産学連携、自治体連携、国際協力、病診連携の各行動推進室を設置し、取組を推進している。

4 業務運営

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・会計事務の業務委託や附属病院の診療費未収金回収等のための専任嘱託職員の配置等による事務局体制の整備・機能強化、任期制実施、教員個人業績評価の実施・改善と給与への効果的な反映等、運営体制の改善と人事の適正化に努めている。
- ・安全対策及び医療事故防止対策に係る委員会等の設置、各種講習会等の実施、実習での事故防止対策事例集作成、附属病院におけるヒヤリハット事例の周知徹底等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・患者紹介率の向上等を図り、診療報酬の確保に努めている。
- ・外部研究資金の獲得に努め、目標を上回る実績をあげている。
- ・事務部門の外部委託や業務見直しによる時間外勤務手当の削減等、人件費抑制に努めた結果、目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価の実施・公表及び外部評価機関の評価結果の大学運営への反映等、厳正な評価の実施と評価結果の活用に努めている。

7 情報公開

評価	4：中期目標の達成状況が良好である。
----	--------------------

中期目標期間の業務実績については、中期計画を着実に実施し目標を達成していることから、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ホームページの運用管理体制を確立し、内容の充実を図っている。
- ・個人情報保護及び情報公開に関する研修会を実施するなど、個人情報保護に関する教職員の意識向上に取り組んでいる。